

脱炭素事業に関する村民説明会【大日向区】開催要旨

日時	令和6年2月6日（火）午後6時～午後7時30分
場所	大日向生活改善センター
参加者	14名（村民13名、議員1名）

【質問者】

野立ての太陽光パネルですが、大日向区では候補地が上がってきているということでしょうか。もう一つ質問します。明平から高津屋森林公園までのところの明平線沿いが全部休耕地になっています。個人ではなく共同でそのあたりに太陽光パネルを設置できませんか。尾根でもありますし、両側の木を伐採すれば、日当たりもとてもいいと思います。

【村づくり推進室長】

野立てに関しては11月の調整会議のときに挙げていただいたものを今調査しております。あくまで候補地で日照や、危険地ではないか調査しています。個人の敷地に設置するもので不足する電力だけを野立てで補えるよう進めています。

【質問者】

集団なり共同でパネル設置も可能ということでしょうか。平林建設さんが来て調査していただいて、家屋には設置できないと判断されました。家屋以外の自分の土地は少し離れてしまうのでそこに設置可能か確認したいです。

【平林建設】

ちょっと遠い土地でも野立てや車庫などにつけることは可能です。また調査にお邪魔しまするので個別に連絡させていただきます。

【エコロミ】

高津屋の森林公園の周りを紹介して見させていただきました。今話があった通りかなり荒れているところがあり、管理ができないから整備して太陽光パネル設置してもらえば日当たりもよくて下からも見えないから景観も損なわず良いじゃないかというお話を頂きました。太陽光パネルを載せられないご家庭に電気を届けるために野立て候補地を探しています。それは個人の村民の方がお金を出して、共同でその尾根沿いの太陽光発電所を作るのではなくて株式会社いくさかてらす（以下、「いくさかてらす」という。）が作った電気を、お届けするというような仕組みです。

【村づくり推進室長】

野立ての土地については、設置が決まれば購入する方向で検討していきたいと考えております。

【質問者】

能登半島地震で瓦など上が重いものが載っていて、加えて耐震性が非常に弱いという指摘がされています。オンサイト PPA については、1 件 1 件の耐震性についての耐震診断が必要ではないかと思います。

【平林建設】

調査中にはありますが、耐震基準に合う家を中心にやっていきたいと考えています。耐震基準に満たない場合は、例えば自宅の倉庫などに設置して頂きたいと考えております。

【質問者】

1 枚 20 キロということですので、掛ける 10 枚 20 枚ということになるとそれだけ加重が上に関わりますので、きちっと調査していただいて、耐震診断して補強しないといけないのか、そこら辺将来に禍根を残さないようお願いしたいと思います。

【質問者】

龍と子に Q&A がたくさんありますが、いくさかてらすとの契約条件を明確にしていきたいです。

【村づくり推進室長】

契約に関しては電気料金も含めて、令和 6 年の 6 月を目処にお示ししていきたいと考えています。

【質問者】

自宅にパネルを設置した場合、その電気は自家用で使っているのですか。また、本日朝 2 時間 20 分停電がありました。そんな場合にも蓄電池を設置すればその電気を使用してもいいのですか。

【村づくり推進室長】

家屋に設置したパネルからの電気については、そのご自宅でお使いいただけるという形になります。その電気を使った分だけ電気料金という形で、少し安い金額でご利用いただけるということです。その契約も含めてお願いをする事業です。脱炭素というところがどこの部分かというところ内で自然エネルギーである太陽光で作った電気を村内で使うということです。蓄電池の中に電気電力がある限りは、その中で停電に対応できるというふうに思います。

【質問者】

今中部電力で電気を買っています。今回村内に設置する太陽光パネルで電気をまかなえれば、いくさかてらすへ中部電力より安い料金を払えばいいということですか。

【村づくり推進室長】

そうです。今までの質問でもありましたが、太陽光蓄電池をつけるから中部電力の電線を

完全に遮断してしまうわけではないです。太陽光の電気が足りない場合には、保険として中部電力から不足した場合には供給いただくという形になります。ただ、中部電力にお金を支払うのではなくて、いくさかてらすが調達し契約の電気料金の中で対応させていただきます。屋根につけられない場合にも、蓄電池のみでの設置が可能です。どこにも設置できなくても契約をできるだけお願いしたいです。

【質問者】

野立ての太陽光発電について、高圧線の真下に設置することはできますか。

【平林建設】

おそらく電力会社が鉄塔の周りを借り上げていると思います。使用許可が取れば設置できるかもしれません。地権の問題があるので調べないと分かりません。

【質問者】

昔設置した太陽光発電のパネルがよく故障するという話を聞いています。最近のパネル製造の技術は上がってきていますか。

【平林建設】

間違いなく上がってきています。今回の事業の5年間6年間の間におそらくまた良いものが出てくると思います。随時良いものに変えていく方向になると思いますが、現時点でも例えば弊社で作っている道の駅のところと同じパネルがその当時は240kWだったのですが今のパネルはあの大きさに415kWになっています。倍近くの効率が良くなっています。より良いものをつけるようにしたいと思います。もし壊れた場合は修理も全ていくさかてらすがやります。送電線は中部電力の所有物なので、断線の場合は今まで通り中部電力が直しますので、安心していただければと思います。

【質問者】

古民家脱炭素リノベーション事業の内容はまだ具体的に決まっていますか。断熱用のペアガラスは補助対象になりますか。

【村づくり推進室長】

令和6年度に事業を構築します。7年度から支援できるようにペアガラスなどが対象になるかという部分もお示ししたいと思います。

【質問者】

EVカーの購入補助は安曇野市と周辺地域にはかなりあると聞いている。生坂村としてEVカーの購入補助は考えていますか。

【エコロミ】

EVカーの購入補助は村自体としてはいいです。ですが、国の方の補助は結構大きなもの

があります。100万円台の補助が出るものがあります。そちらの補助があるので、村単独での補助はしません。この環境省の事業でもEVカーの購入に対しての補助はできないということになっています。

どんな補助金どこにあるか、補助金の申請を手伝ってほしいという話が今後出てくると思います。そういったご相談はヒタيشョが事務局をやっていますのでうまくご支援できるようなやり方を考えたいと思っています。

【質問者】

家屋の屋根にパネルを載せる工事は令和6年6月からすぐはじまるのですか。

【村づくり推進室長】

3月の議会で予算が承認されれば、そこからいくさかてらすへ発注する。家屋の場合はまず契約が必要なので6月にお示しする内容を確認いただいてからということになると思います。この電気の関係だけではなく、省エネ機器の導入補助をしてほしいというようなご意見もあります。6年度から早々に前倒しで始められればなと思っています。各家庭、更新のタイミングやそれぞれの家庭事情もあると思いますが、省エネ機器導入補助金も活用していただきたいというのがこちらの希望です。3分の1か4分の1の金額は自己負担になりますので、それでもその分についてはご支援いたしますのでよろしくお願いします。

【質問者】

CO2の削減のための村の事業としてのリサイクルも大事かと思いますが、それぞれの家庭でもやっています。そういう個人で取り組めることに関してもこの機会に再度、啓発して行って欲しいです。

【藤澤村長】

他の地区でも省エネをもっと啓発するべきだという意見をいただきました。3Rの運動などです。皆さんもマイバックはお持ちになっている人たちが多くなりましたけれど、そういうもので、省エネもやっぱり2030年までに2倍にしなければいけないということをCOP28でも言っています。その辺また啓発をしようと思っています。生ゴミの処理機などは、今補助を出しています。そういうこともお知らせしながら、なるべく村民1人1人も省エネをやっていただきたいです。もしその省エネ機器も購入していただければ、説明した通り補助も出ます。全体的に太陽光と蓄電池でもCO2の削減になって、2030年までに皆さんが出すCO2をゼロにしたいと、そういう事業ですので、本当に1人1人がそういう気持ちになってもらわないとこの事業は成功しないと思っていますので、啓発もあわせて行っていききたいと思っています。